

	到達目標	S	A	B	C	D
1	幼児理解の意義を説明できる (C1)	幼児理解の意義を包括かつ詳細に説明し、その理解が教育実践において不可欠であることを論理的に展開する。	幼児理解の基本的な意義を説明し、教育への貢献や子どもたちの個々のニーズへの対応について述べる。	幼児理解の重要性を一般的に説明し、教育実践における役割を示唆する。	幼児理解の一般的な概念を説明し、教育における役割について簡単に言及する。	幼児理解の意義について、ほとんど言及せず、十分な説明がない。
2	幼児理解をもとに発達と学びをとらえる仕組みを説明できる (C1)	幼児理解を発達と学習の基盤として説明し、その理論的枠組みを詳細かつ論理的に説明する。	幼児理解を発達と学習の理解に結びつけ、教育実践への応用方法を説明する。	幼児理解が発達と学習にどのように関連しているかを説明し、教育への適用可能性について示唆する。	幼児理解と発達・学習の関連性について簡単に説明し、教育への応用について一般的なアイデアを示す。	幼児理解と発達・学習の関連性についてほとんど言及せず、十分な説明がない。
3	幼児理解を深めるための教師の基礎的な態度について説明できる (C1)	教師の信頼性、尊重、柔軟性などの態度が幼児理解の深化にどのように貢献するかを具体的に説明する。	教師の態度が幼児理解を向上させる方法について説明し、ポジティブな態度の重要性を強調する。	教師の基本的な態度が幼児理解を支える方法について一般的に説明する。	教師の態度が幼児理解に影響を与えることを述べ、その重要性を指摘する。	教師の態度についてほとんど言及せず、十分な説明がない。
4	応じた観察法等の事例を例示することができる (C1)	観察と記録の重要性と目的を具体的な例を挙げて説明し、目的に応じた観察方法を適切に選択する。	観察と記録の意義と目的を説明し、いくつかの例を挙げて目的に応じた観察方法を示す。	観察と記録の基本的な意味と目的を説明し、一般的な観察方法について言及する。	観察と記録の重要性を述べ、一般的な目的について説明する。	観察と記録の意義や目的についてほとんど言及せず、十分な説明がない。
5	個と集団の関係をとらえる意義及び方法を説明できる (C1)	個と集団の関係の重要性を詳細かつ具体的に説明し、その理解を教育実践にどのように適用するかを示す。	個と集団の関係の意義を説明し、教育への応用方法について示唆する。	個と集団の関係の基本的な意義を説明し、教育実践への適用可能性について簡単に言及する。	個と集団の関係の重要性を述べ、教育への応用方法について一般的な意見を示す。	個と集団の関係についてほとんど言及せず、十分な説明がない。
6	よびその他の背景から理解することができる (C1)	幼児のつまづきの原因を深く理解し、それが周囲の幼児や環境とどのように関連しているかを詳細に説明する。	幼児のつまづきを他の幼児や環境との関係から理解し、その理解を基にしたサポート方法を示す。	幼児のつまづきを周囲の幼児や環境との関連から理解し、その支援について一般的な意見を述べる。	幼児のつまづきについてほとんど言及せしないまま、一般的な説明をする。	幼児のつまづきについてほとんど言及せず、十分な説明がない。
7	保護者の心情及び基礎的な対応の方法について説明できる (C1)	保護者の心情やニーズを深く理解し、適切なサポートやコミュニケーション方法を具体的に説明する。	保護者の心情や基本的な対応方法を理解し、それに基づいたサポート方法を示す。	保護者の心情や基本的な対応方法について一般的な意見を述べる。	保護者の心情や対応方法の理解の重要性を述べる。	保護者の心情や基本的な対応方法についてほとんど言及せず、十分な説明がない。